



消防職員特別教育 水難救助科〔第31期〕

水難救助の危険性を再認識せよ

6月27日（火）から7月14日（金）まで、県内10消防本部（局）から推薦を受けた23人の消防職員が水難救助科第31期生として本校へ入校し、教育訓練を受けました。

本県における昨年夏期の水難事故は25件発生しており、全国と比較しても高い水準の発生件数となっています。

広範囲に渡る海岸と一級河川を含む多くの河川を有する本県にとって、水難救助業務は大変重要な任務の一つです。

本課程では、座学による基礎知識の習得や各種実科訓練と併せ、海洋や河川での校外訓練や海上保安庁の潜水土との合同訓練を実施しました。



（担当教官コメント）

初日から始まったスキンドайビングの訓練では、ウエットスーツや3点セット（マスク、ウエイト、フィン）の水面脱着に苦戦している学生が多くいましたが、次第に学生同士で互いに励まし合いながら訓練に臨む姿勢が見受けられました。講師から次々と与えられる水平・垂直潜水、水中結索、2点セット脱着などの課題にも、課外時間を使って自主的に訓練を行い、学生同士で技術を教え合いながら克服していく様子が見られ、消防職員の持つ協同精神が感じられました。

今回、初めて清水海上保安部の潜水土の方から、技術的な指導をいただきました。水難救助業務について専門的な講師の方から指導いただくことで、緊張感のある大変貴重な訓練であったと思います。訓練内では、活発な意見交換が行われました。今後も訓練等で交流し、両機関の相互理解や現場での良好な連携に繋がればと思います。

三保、用宗での海洋で行われた訓練では、浮力の大きい環境下で、プールでの訓練とは違う潜水具合に苦戦しながらも、真剣に検索訓練を学ぼうとする姿勢が見られました。

彼らがこの教育訓練で学んだ知識、感じた技術不足について真剣に考え、水難救助対応能力の向上に邁進されることを期待します。

教務課主査 仲村 直樹（下田消防本部から派遣）



学校プールでの潜水訓練



潜水業務の安全管理（座学）



富士川での急流河川救助訓練



海上保安庁との合同訓練



海洋での検索訓練（三保海岸）



海洋での検索訓練（用宗漁港）

初任科第94期第2回野外訓練

活動方針：安全・確実・迅速



第2回野外訓練は、初任教育の一環として、近い将来の発生が危惧されている『南海トラフ巨大地震』の発生を想定して実施するものです。学校訓練施設における各種訓練及び校外での夜間強歩訓練を行い、消防職員として必要である強靱な体力・精神力を養成するとともに、消防の任務である大規模災害における要救助者の救出を目的として行いました。

訓練当日昼間は本校において震災時対応訓練や土砂災害対応訓練などを実施し、その後、夜間から朝にかけて、災害現場への歩行移動を想定し約20kgの装備を背負い、富士マリンプールから本校までの約30kmを踏破し、学校到着後は、仮想大規模災害現場にてブラインド型想定訓練を実施しました。

あたりまえのことを ばかにしないで ちゃんとやることのできる消防士となれ

初任科第94期 第2回野外訓練の概要

- 実施日時
令和5年 8月3日(木) 9:00 ~
8月4日(金) 7:30
- 訓練内容・場所
第1部 消防学校訓練施設で各種訓練
第2部 夜間強歩訓練
(富士マリンプール~消防学校:約30km)
第3部 大規模災害現場でブラインド型訓練
- 日程表
3日(木)
6:15 起床
6:30 日朝点呼・早朝体育(資器材準備)
7:30 朝食
8:20 日直寮直交代
9:00 校長訓示・各種訓練開始
15:15 各種訓練終了 夕食・入浴
17:30 消防学校出発(バス)
18:30 富士マリンプール到着
19:00 夜間強歩訓練開始
4日(金)
5:30 帰校
6:00 ブラインド型訓練開始
7:30 訓練終了

訓練担当教官



苦しい、疲れた、もうやめた
では人の命は救えない

消防人としての覚悟を持って！

(担当教官コメント)

一昔前まで、大規模災害は忘れた頃にやってくると言われていましたが、近年は忘れる前にやってくるといわれています。

学生には、必ず過酷な災害現場に行かなくてはならないこと、助けを待つ市民がいること、「訓練は現場のように、現場は訓練のように。訓練でできないことは、現場では絶対にできない。」ことを学生たちに伝えてきました。

学生も日頃の実科訓練以上に集中することにより、達成感もひとしおであったと思います。最後までやり切った学生、途中でリタイアしてしまった学生にとっても、今後の消防人生において役に立つことはもちろんのこと、2日間の過酷な訓練は、学生たちにとって必ず財産になることを確信しています。

教務課主査 望月 竜之介(志太消防本部から派遣)

第1部 活動「各種訓練」

各種搬送訓練



シート張り工法訓練

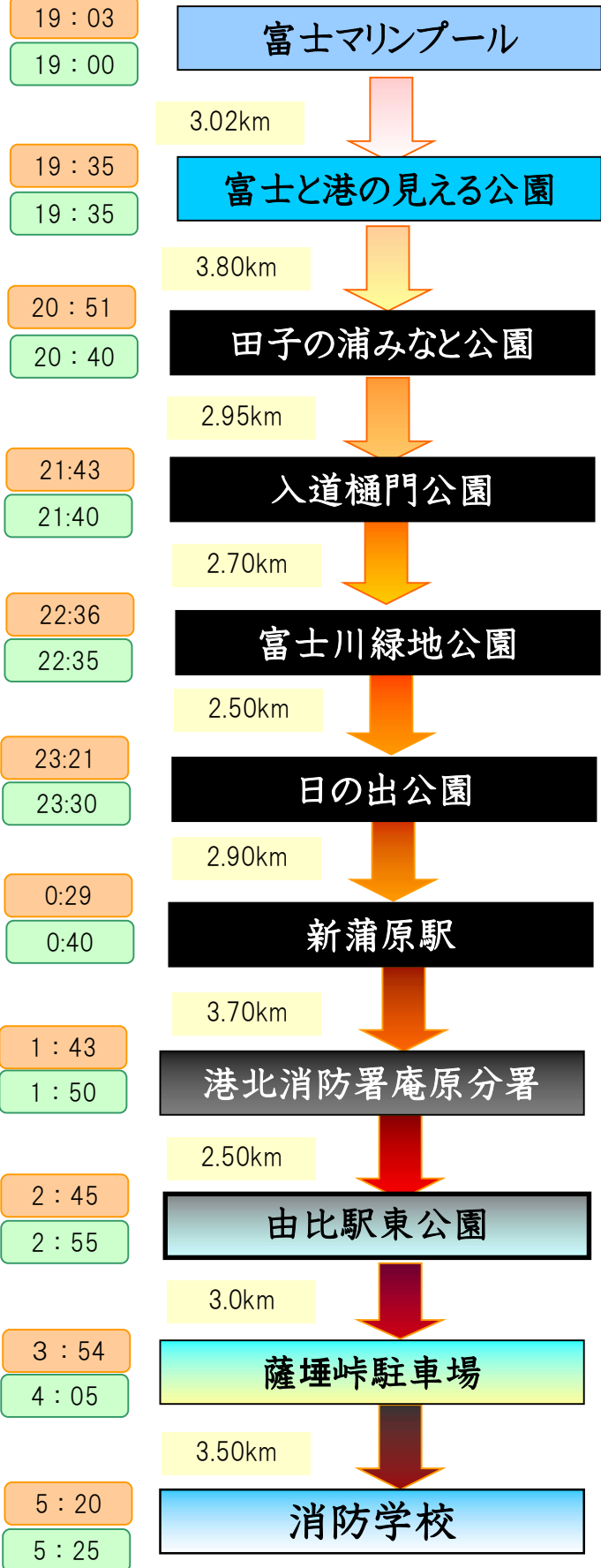


FD CPR 訓練



第2部 活動 「夜間強歩訓練」

出発



到着

実績時間
予定時間



出発前



ひたすら歩く



休憩時間は仮眠



夜も明けはじめ、あと少し



消防学校到着

第3部 活動「ブラインド型訓練」

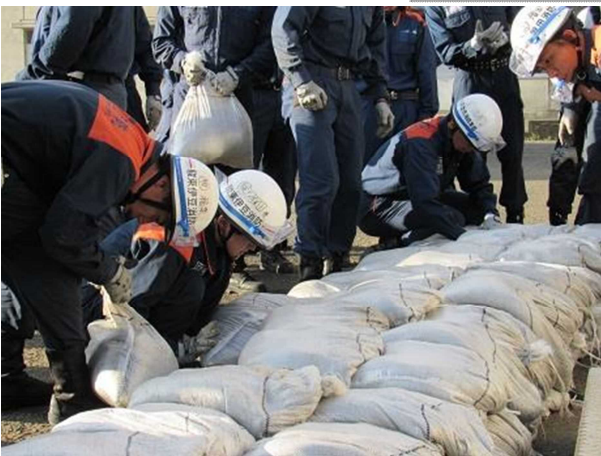
土砂からの救出訓練



要救助者搬送訓練



土嚢搬送訓練



疲労困憊のなか最後の力と気力を振り絞り
仲間と自分を鼓舞し最後まで要救助者を救出する！

インターンシップ生の受入



8月8日（火）に、静岡県危機管理部で受け入れたインターンシップ生6人が、本校に訪れました。

消防学校の概要の説明を受けた後、校内施設と初任科生の訓練を視察しました。

当日は、静岡県消防防災航空隊による救助訓練の展示が行われており、その様子を見学しました。

その後、県職員の教官と意見交換を行い、県の多様な仕事について理解を深めました。

三沢校長から一言

8月18日、4年ぶりに県民の日イベントを開催し、保護者を含め133人に参加いただきました。ありがとうございました。

イベントは初任科生が企画・運営し、消防車試乗や放水、ロープ渡過等の訓練体験や花火教室など、それぞれに子どもたちの歓声が響いていました。最後はヨーヨーが配られ、子どもたちはますます笑顔、初任科生たちも嬉しそうでした。私も赤と橙のヨーヨーをもらい、童心に帰りました。参加者がさらに消防に興味をもち、将来は消防職員として活躍することを願っています。

詳細は次号にてお知らせします。

県民の日イベントとその翌週の夏休みも終わり、いよいよ初任科生の訓練もあと1か月になりました。今日は雨中の訓練でびしょ濡れです。

昨日は体力測定が行われ、4km走は興津川の遊歩道を走りました。この遊歩道、40年近く前に私が土木事務所用地課勤務の時代に担当し、用地を購入したものでした。私の仕事も少しは役に立っているとちょっと嬉しくなりました。

来月これを書いている頃には初任科生は修了しています。校内は静かで寂しくなってるでしょうね。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX 054-369-1197 E-mail fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp



★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索